



ワイアレス接続対応プレゼンテーションポイントメーカー

VP-S1

クイックスタートガイド

Ver.1.0.0

- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- AirPlay、iPad および iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Android および Google Cast は Google LLC の商標です。
- Miracast は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図やメニュー項目などが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。



安全上のご注意







本製品をご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）を良く理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。


図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く



警告





 <p>禁止</p>	<p>不安定な場所に置かない 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p>
	<p>振動のある場所に置かない 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
	<p>異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p>
	<p>電源コード・電源プラグは <ul style="list-style-type: none"> ・傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・電源プラグが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。 </p>
 <p>分解禁止</p>	<p>修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。内部の点検・調整および修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>雷が鳴り出したら電源コードや LAN ケーブル、本体などには触れない 感電の原因になります。</p>
 <p>指示</p>	<p>据付工事について 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p>
	<p>電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常や故障のときや長時間使用しないときなどに役立ちます。</p>
	<p>電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱によって火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p>
 <p>プラグを抜く</p>	<p>煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認し、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
	<p>落としたり、キャビネットが破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
	<p>内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>

機器の接続について

 <p>指示</p>	<p>本体と周辺機器との接地電位差により感電、もしくは機器の破損が発生する場合があります。機器間をケーブルで接続する際は、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。各機器の信号・制御ケーブルを接続し、終了した後に各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。</p>
---	--




注意


 <p>禁止</p>	<p>温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。</p>
	<p>湿気・油煙・埃の多い場所に置かない 加湿器のそばや埃の多い場所などに置くと、火災・感電の原因になります。</p>
	<p>通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。</p>
	<p>機器の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。</p>
	<p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。</p>
	<p>本体付属の AC アダプタまたは電源コード以外のものは使用しない 不適合により、火災や感電の原因になります。本体付属の AC アダプタまたは電源コードは 100 V 系国内専用です。海外など 200 V 系でご使用になる場合は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>ぬれ手禁止</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。</p>
 <p>指示</p>	<p>温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。</p>
	<p>他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る 火災や感電の原因になります。</p>
 <p>プラグを抜く</p>	<p>長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。</p>
	<p>お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因になります。</p>

設置についてのお願い


> ラックマウント製品の場合

 <p>指示</p>	<p>EIA 相当のラックにマウントしてください。その際には上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また、安全性を高めるため前面のマウント金具と併用して L 型のサポートアングルなどを取り付けて、機器全体の質を平均的に支えるようにしてください。</p>
---	--

> ゴム足つきの製品の場合

 <p>指示</p>	<p>ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とネジ以外は使用しないでください。</p>
---	---

> 海拔について

 <p>指示</p>	<p>海拔 2,000 m 以上の場所に設置しないでください。 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。</p>
---	---

目次

1	同梱物の確認.....	8
2	製品概要.....	9
3	特長.....	10
4	各部の名称とはたらき.....	11
4.1	フロントパネル.....	11
4.2	リアパネル.....	12
5	外部機器との接続.....	13
5.1	機器接続例.....	13
5.2	映像音声の入出力接続例.....	13
5.3	描画・制御デバイスの接続例.....	14
6	起動・終了.....	15
6.1	起動方法.....	15
6.2	終了方法.....	15
7	キャリブレーション.....	16
7.1	キャリブレーションの方法.....	16
8	ネットワーク設定.....	18
8.1	ネットワークセットアップ.....	18
8.2	無線端末の接続方法.....	19
9	基本操作.....	21
9.1	メニュー表示・非表示の方法.....	21
9.2	アイコンの説明.....	21
10	ご利用上の注意点.....	23
11	正常に動作しないときは.....	24

1 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の営業部までご連絡ください。

- | | |
|--------------|-----|
| ・ VP-S1 本体 | 1 台 |
| ・ 専用 AC アダプタ | 1 個 |
| ・ 専用 AC コード | 1 個 |
| ・ キーボード | 1 個 |
| ・ 専用アンテナ | 2 本 |
| ・ 専用ゴム足 | 4 個 |
| ・ 取扱説明書 (本書) | 1 冊 |

2 製品概要

VP-S1 は、4K の HDMI や Web カメラ、Airplay や Miracast、Google Cast によって入力された映像に描画することができるプレゼンテーションポイントメーカーです。

描画はペンタブレット端末やタブレット端末、タッチパネルディスプレイから描画線の種類（細・中・太）、線色（7色）を選んで行うことができ、描画デバイスごとに色を変えて描画することができます。描画した画像は、HDMI 端子から出力したりタブレット端末に対して無線配信したりすることが可能です。

また、RS-232C および LAN 経由により制御を行うことも可能です。

3 特長

描画機能

- 自由描画
- 7色の描画色 (描画デバイスごとに色を変えての描画が可能)
- 3種類 (細・中・太) の描画線表示
- フリーアプリケーションを利用した iPad、iPhone、Android 端末からの描画

映像

- 4K@60 出力対応 (入力は 4K@30 まで対応)
- Airplay や Miracast、Google Cast を利用して無線映像入力が可能
- USB Web カメラをソースとして利用可能

制御

- RS-232C、LAN

その他

- 直感的な操作メニュー
- タブレット端末に対しての無線配信

4 各部の名称とはたらき

4.1 フロントパネル

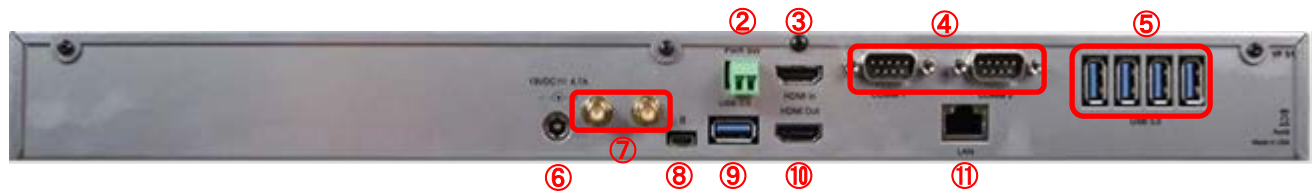


[図 4.1] フロントパネルの外観図

[表 4.1] フロントパネルの各名称と説明

番号	名称	説明
①	電源スイッチ	本器の電源を ON/OFF します。電源スイッチを「ON」にすると、「VP-S1」のロゴが表示されます。本器が起動すると、LED ランプが点灯します。起動から約 120 秒後、本器の動作が可能となります。

4.2 リアパネル



[図 4.2] リアパネルの外観図

[表 4.2] リアパネルの各名称と説明

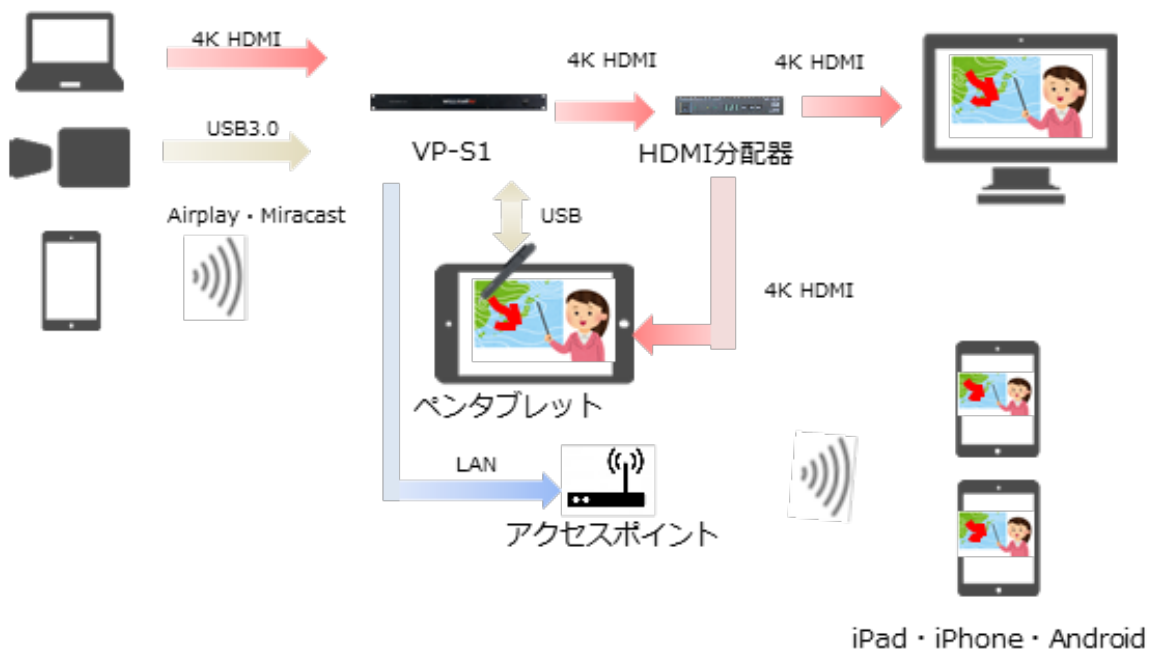
番号	名称	説明
②	外部電源制御端子	接点制御により本器の電源のON/OFFが可能です。
③	HDMI 入力コネクタ	HDMI 信号と DVI 信号の入力コネクタです。PC 等のソース機器と接続します。なお、HDCP 入力には対応していません。
④	RS-232C コネクタ	通信コマンドによる外部制御を行う際に利用します。
⑤	USB コネクタ	USB インターフェースのペンタレット、マウス、キーボード、USB メモリ(FAT16 もしくは FAT32 でフォーマットが必要)を接続します。
⑥	電源コネクタ	付属の専用 AC アダプタを接続します。
⑦	アンテナ接続コネクタ	付属の専用アンテナを接続します。
⑧	ファームアップ用コネクタ	本バージョンでは利用できません。
⑨	USB コネクタ(映像入力用)	Web カメラ入力用のコネクタです。
⑩	HDMI 出力コネクタ	HDMI 信号と DVI 信号の出力コネクタです。液晶モニター、プロジェクタ、ペンタレット等のシンク機器と接続します。複数の新規機器を利用する場合は、分配器を接続します。
⑪	LAN コネクタ	本器をネットワーク接続する際に利用します。無線ルータを接続して無線配信を行ったり、通信コマンドによって外部制御したりする際に使用します。

5 外部機器との接続

本章では機器の接続方法と起動、操作方法について説明します。

5.1 機器接続例

Presenterを使った4Kアノテーションシステム



[図 5.1] ソース機器とシンク機器を接続した時の接続例

5.2 映像音声の入出力接続例

ソース・新規機器のみの接続例です。



[図 5.2] ソース機器とシンク機器を接続した時の接続例

5.3 描画・制御デバイスの接続例

描画・制御デバイスの接続例です。接続には USB コネクタを利用します。



【注意】描画・制御デバイスは複数同時接続できますが、同時に使用することはできません。
例：キーボードで操作中にペンタブレットは使用できません。

6 起動・終了

本章では、VP-S1 の起動・終了方法について説明します。

6.1 起動方法

電源投入は以下の方法で行ってください。



設定手順

- 1 本器のフロントにある「POWER」ボタンを1回押します。ボタンのLEDランプが点灯します。
- 2 【Williams AV】のロゴ画面が表示されます。電源ONから約120秒後、本機の操作が可能となります。
- 3 映像が未入力の場合は「Searching...」の画面が表示されます。

【注意】本機を起動するには、HDMI出力にシンク機器が接続されている必要があります。

6.2 終了方法

終了時は、手順は以下の方法で行ってください。



設定手順

- 1 本器のフロントにある「POWER」ボタンを1回押します。ボタンのLEDランプが消灯します。

7 キャリブレーション

7.1 キャリブレーションの方法




キャリブレーションは、ペンタブレット上でタッチした場所と画面上の位置データを合わせるために行います。キャリブレーションを行わないと、画面にタッチしても正常に反応しない場合があります。

※ 初期設定時は必ずキャリブレーションを行ってください。また、設定時にキーボードやマウスを使用しますので、デバイスを接続した状態で下記のように設定してください。

キャリブレーション設定は本体内存メモリに保存され、直近に保存したキャリブレーション設定が電源起動時に呼び出されます。

以下では、ペンタブレットのキャリブレーション方法を紹介します。

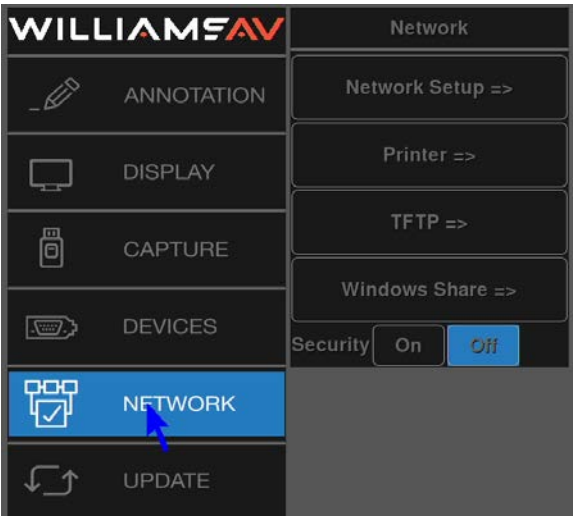
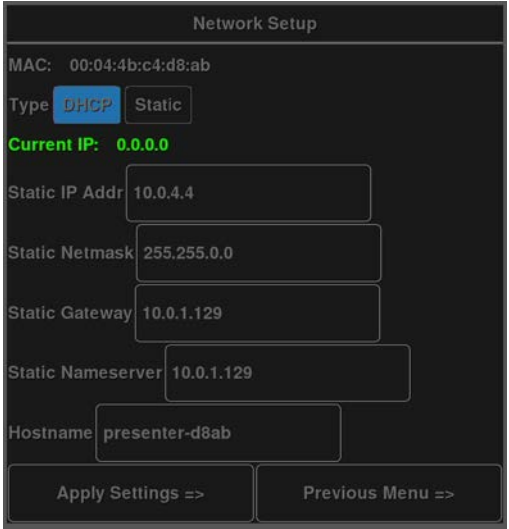

番号	手順	使用例
1	キーボードの「Print screen」キーを押して「Main menu」を開き、「DEVICES」を選択してください。その後「Devices」メニューが表示されます。	
2	「Calibration」を選択すると、「Calibration Menu」が表示されます。	


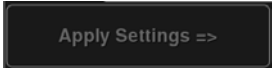
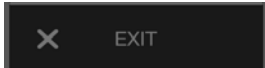
3	「Calibration Menu」から、「Touch Screen Calibration」選択して下さい。選択すると、キャリブレーションスクリーンが表示されます。	
4	表示されたキャリブレーションの指示に従ってください。十字アイコンが表示されるので交差部分(中心)をタッチしてください。タッチするとタッチした十字アイコンは消え、次の十字アイコンが表示されます。合計12個の十字アイコンをタッチするとキャリブレーションが終了します。	
5	設定後、「Main Menu」の「EXIT」を選択してメニューを終了してください。	

8 ネットワーク設定

VP-S1 に内蔵されたネットワーク機能は、TCP/IP 上の様々な機能に対応しています。ネットワーク機能を利用して VP-S1 に無線端末を接続したり制御コマンドを送ったりすることができます。



8.1 ネットワークセットアップ

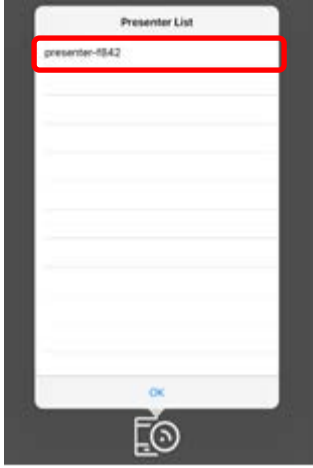

番号	手順	使用例
1	キーボードの「Print screen」キーを押して「Main menu」を開き、「NETWORK」を選択して下さい。「Network menu」が表示されます。	 <p>The screenshot shows the main menu with the following options: ANNOTATION, DISPLAY, CAPTURE, DEVICES, NETWORK (highlighted with a blue arrow), and UPDATE. On the right side, there is a 'Network' section with buttons for 'Network Setup =>', 'Printer =>', 'TFTP =>', and 'Windows Share =>', along with a 'Security' toggle set to 'On'.</p>
2	「Network Setup」を選択すると、「Network setup menu」が表示されます。このダイアログで、ネットワーク上で VP-S1 がコミュニケーションを行うための設定を行います。	 <p>The screenshot shows the 'Network Setup' dialog with the following settings: MAC: 00:04:4b:c4:d8:ab, Type: DHCP (selected), Static, Current IP: 0.0.0.0, Static IP Addr: 10.0.4.4, Static Netmask: 255.255.0.0, Static Gateway: 10.0.1.129, Static Nameserver: 10.0.1.129, and Hostname: presenter-d8ab. Buttons for 'Apply Settings =>' and 'Previous Menu =>' are visible at the bottom.</p>
3	「DHCP」もしくは「Static」を選択できます。ここでは「Static」を選択して固定 IP アドレスを選択する方法を説明します。 DHCP : IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、ネームサーバーが自動的に設定されます。	 <p>The screenshot shows a close-up of the 'Type' selection area with 'DHCP' and 'Static' buttons. The 'Static' button is highlighted in blue.</p>

	<p>Static: IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、ネームサーバーを手動で設定できます。工場出荷時は、Static に設定されています。工場出荷時の IP アドレスは以下となります。</p> <p>IP アドレス: 10.0.4.1 サブネット マスク: 255.255.0.0</p>	
4	<p>設定したい固定 IP アドレスを「Static IP Address」の欄に入力し、サブネットマスクを「Static Netmask」の欄に入力してください。そのほかの欄は入力しなくても利用することができます。</p>	
5	<p>「Apply Settings」を押してネットワーク設定を反映してください。</p>	
6	<p>設定後、「Main Menu」の「EXIT」を選択してメニューを終了してください。</p>	

8.2 無線端末の接続方法

VP-S1 は iPad や iPhone、Android に専用アプリケーションをインストールすることで、無線配信された映像を受信したり描画を行ったりすることができます。
ここでは iPad を利用した際の接続方法をご説明します。

番号	手順	使用例
1	同一ネットワーク内にあるアクセスポイントに、iPad と VP-S1 を接続します。	
2	PresenterControl アプリのアイコンをタップしてアプリを起動してください	 <p>PresenterControl アイコン</p>
3	画面下部の「Presenter list」ボタンを押すと、接続できる VP-S1 が表示されます。	 <p>Presenter list ボタン</p>

<p>4</p>	<p>接続したいVP-S1をタップするとVP-S1とiPadが接続され、VP-S1で選択された映像が表示されます。</p>	
<p>5</p>	<p>VP-S1で選択中の映像がiPadに表示されます。</p>	

【注意】ストリーミング解像度を大きく設定した場合、タブレットデバイスの性能によっては動画がなめらかに表示できない場合があります。ストリーミング解像度を下げて使用することをお勧めします。

9 基本操作

電源を起動し本器の操作が可能になると、ペンタブレットもしくは無線端末の画面上にアイコンが表示されます。表示されたアイコンをタップすることで、基本操作を行うことができます。

9.1 メニュー表示・非表示の方法

【ペンタブレットの場合】

画面下に三本の横線のアイコンが表示されます。タッチするとメニューのアイコンが表示されます。メニューを消す際は、再度アイコンをタップしてください。



画面表示アイコン

【iPad・iPhone・Android アプリを利用する場合】

画面下部にアイコンが表示されます。メニューは常に表示された状態になります。

9.2 アイコンの説明

番号	アイコン	内容	説明
1		全消去	現在表示されている描画内容をすべて消去します。
2		消しゴム	描画した内容を消去することができます。選択した後に消去したい描画部分に触れてください。 【注意】 消しゴムツールを利用する際には、メインメニューの操作は避けてください。
3		ペン色および太さの選択	ペンの色と太さを選択します。タッチすると以下の線色選択(3A)と線幅選択(3B)のメニューが画面上部に表示されます。設定後メニューを消す際は再度本アイコンをタップしてください。

3A		線色選択	7種類の線色から線色を選択します。
3B		線幅選択	3種類の線幅から線幅を選択します。
4		ホワイトボード機能	ホワイトボードを表示します。
5		HDMI 入力選択	HDMI の入力映像を表示します。
6		USB カメラ入力選択	USB カメラの入力映像を表示します。
7		ストリーミング入力 (Airplay・Miracast・Googlecast)	ストリーミングの入力映像を表示します。
8		音声ボリュームアップ	タップすると音声有一段階上がります。
9		音声ボリュームダウン	タップすると音声有一段階下がります。
10		音声ミュート	タップすると音声ミュートします。
11		Wi-Fi ペアリング	Wi-Fi ネットワーク内にある Presenter Hub と接続します。接続したい Presenter Hub を選択して下さい。なお本メニューはペンタブレット利用時には表示されません。
12		スライド操作	Bluetooth で PC に接続し、パワーポイントのスライドのページ操作が可能です。なお、本バージョンでは対応しておりません。
13		レコーディング	U USB3.0 端子に接続した USB メモリに動画の保存が可能です。
14		ボイスコントロール	音声にて操作が可能です。本バージョンでは対応しておりません。

10 ご利用上の注意点

- HDMI 入力について

本機の HDMI 入力に接続されているソース機器の HDCP 出力設定によっては、映像信号が HDCP コンテンツであるかどうかに関わらず、HDMI 入力映像が正しく表示できない場合があります。ソース機器側の HDCP 出力設定を無効にして映像が表示できるかご確認ください。

- HDMI 出力について

本器を使用中に以下の操作は行わないでください。

- 端子に接続されている HDMI ケーブルの抜き差し
- 出力先シンク機器の電源状態の切り換え
- 出力先シンク機器の入力チャンネルの切り換え

これらの操作を行った場合、本機から出力されるサウンドが正常に出力されなくなる可能性があります。必ず本機の電源をオフにした後に行ってください。

11 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しないときは、まず以下の点をご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ 接続している機器は正しく設定されていますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因となるようなものはありますか？

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、弊社営業部までご連絡ください。

VP-S1 クイックスタートガイド

Ver.1.0.0

発行日 2019年5月13日



株式会社アルバニクス

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1-1F
TEL: (046) 259-6920
FAX: (046) 259-6930
E-mail: info@arvanics.com
URL: <http://www.arvanics.com>